



ふるさと大野

令和7年12月24日

NO. 8

文責 宇田津

2学期が終わりました。日に日に寒さが増したかと思うと、暖かい日が戻ってきて、服の脱ぎ着を始めちょっとした健康対策の継続力が試されているようにも思います。心配されたインフルエンザ等の感染症の大流行も何とか避けることができてよかったです。今年度の大きな行事だった創立150周年記念式典がずいぶん前のことのようですね。2学期の振り返りを充実した冬休みに、そして、新年への思いにつなげてほしいと思います。

感謝、感謝の創立150周年 白木・大野・告小学校統合20年記念式典!!

11月16日(日)、素晴らしい晴天の下、昨年度から準備を進めてまいりました記念式典が開催されました。地域の皆様には長年にわたって学校を見守っていただいたうえにたくさんのご寄付までいただき、たいへん感謝しております。まさに地域の中の学校…、多くの方々に支えられ心通い合う中で育まれる温かさが学校の歴史を創り現在に至ったのだと、式典を通じてあらためて感じました。



徳尾実行委員長が語られた古き良き大野、芦北高校の草野校長先生の特別講演の中での故郷と関わりながら生きる幸せなど、心に深く残るものでした。



キッチンカーでおいしい昼食を済ませた後、午後の部のオープニングとなつた葦北鉄砲隊の演武や芦北町マンドリン協会による演奏なども芦北のよさにあらためてふれるよい機会となりました。一方、「ぜひ子供達に心に残る思い出を」と企画されたプロジェクトマッピングでは、最先端の高度な技術により、幻想的な空間の中で三校の歴史にふれることができました。本校のマスコットであるムンタロウの登場も楽しくて、子供達は大喜びでした。

学習発表会では、子供達もがんばりました。1・2年生は、デジタル黒板を見事に操作し、堂々とした発表をしてくれました。3・4年生は、短い準備期間の中で演技だけでなく背景や衣装にまでこだわって見応えのある劇をしてくれました。5・6年生は、地域を歩いて学んだフットパスコースの発表のみならず、米作りについても学校を代表して発表してくれました。そして、PTAも負けていません。夏休みに熊本県立大学の協力も得て、歩いて整理した大野のよさを発表してくださいました。

後日、多くの方々から今回の記念式典はすばらしかったとお褒めの言葉をいただきました。各地区の区長様始め実行委員会の皆様の思いとともに実現した記念式典へのご尽力に、あらためて感謝申し上げます。



他にも こんなにたくさんの行事がありました！



郡小学校音楽発表会、広い会場に24人の歌声が美しく響きました。自信もつきました。



5年生の肥後っ子教室、公害の悲惨さと自分にできる身近な環境作りを学びました。



6年生の長崎修学旅行、平和の尊さを学ぶとともに、楽しい思い出もたくさんできました。



オンラインで台湾との交流を行いました。こんなことができる時代になりました。



1・2年生もALTのジーン先生と英語のジャンケンで英語に親しみました。あっち向いてホイ！



サラタマの植え付けをしました。来年度のカンボジア募金につなげます。雑草もとります！

追伸 終業式では、「夢や目標をもつと」という話をしました。夢や目標があれば、ワクワクが増えます。自分からやりたい、やってみたいと思うことも増えます。そして何より、失敗に学び、成長することができます。保護者の皆様には、この機会に子どもさんとお互いの「夢や目標」を語り合われてみてはいかがでしょう。私自身は照れくさくて、子どもの頃も親となつてからもそんな経験はなかったのですがお勧めします。それでは、どうぞよい年の瀬を…

